

超域政治文化論特講Ⅰ

選択 2単位

山崎 直也

1. 授業の概要(ねらい)

各履修者は自らの専門地域を政治的アプローチで論じた文献を選び、レジュメを作成してその概要を報告する。他の履修者の専門地域との比較によって、自らの専門地域の特徴について、より深い理解を得る。同時に、大学院生として必要とされる資料検索・収集のスキルを身につける。履修者の問題関心に応じて柔軟に内容を調整し、修士論文執筆の助けとなる授業としたい。教員は東アジアを専門とするが、それ以外の地域を専門とする学生も歓迎する。

2. 授業の到達目標

- 1) 大学図書館、公共図書館のデータベースを活用して、研究に必要な資料を収集することができる。
- 2) 日本語(ないし英語、中国語)で書かれた学術書、学術論文の内容を理解し、その論旨を日本語で表現することができる。
- 3) 学術書、学術文献を他の関連文献と結びつけ、あるいは比較することで、その学術的意義を批評的に論じることができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業中の態度と発言内容 30%

中間・期末発表 30%

期末レポート 40%

※今学期の期末レポートは、授業で輪読した文献のCritical Book Reviewとする。

4. 教科書・参考文献

教科書

履修者の専門・関心に応じて学術書・学術論文を選択する。

5. 準備学修の内容

レジュメの作成を担当する以外の学生も、輪読で取り上げる文献を読み込んで講義に参加すること。

6. その他履修上の注意事項

1. 授業は毎回出席を原則とし、理由のない遅刻は5点、同じく欠席は10点の減点とする。
2. 授業中の無用の私語、指示のないスマートフォン及び電子機器等の使用は厳禁とする。

7. 授業内容

【第1回】 ガイダンス(履修者の関心の聞き取り)

【第2回】 大学院生のための実践的資料検索講座(1)

【第3回】 1. 大学院生のための実践的資料検索講座(2)
2. 講読文献の決定

【第4回】 文献輪読

【第5回】 文献輪読

【第6回】 文献輪読

【第7回】 文献輪読

【第8回】 1. 中間発表
2. 追加文献の選定

【第9回】 文献輪読

【第10回】 文献輪読

【第11回】 文献輪読

【第12回】 文献輪読

【第13回】 文献輪読

【第14回】 期末発表

【第15回】 【オンライン】学生の必要に応じて個別指導を行う